

GOTO

南米の地に、星空の知が輝く。

チリ大学で天文学研究の新たな一步を刻む、
五藤光学の45cmカセグレン反射式赤道儀。



峻厳なアンデス山脈を間近に望む、南米チリの首都サンチアゴ。日本からは地球の反対側に位置し、大航海時代に「世界の果て」と言われたこの地で見える星空は、いったいどんな景色なのでしょう？ そんなロマンを一層かきたてるのが、2002年11月から国立チリ大学で始動する五藤光学の45cmカセグレン反射式赤道儀です。宇宙を見つめる研究者のために開発され、光学系では極限まで研磨された口径45cmの望遠鏡に、リモート操作が可能な先進システム「CATS-III」を搭載。あらかじめ観測撮影予約をしておけば、冷却CCDカメラを利用して自動的に見たい天体を検索・撮影できるなど、時間の制約なしにリアルな天体情報をキャッチすることができます。地球の反対側に届けられた、一台の望遠鏡。海を越えて根づく種子のように、学生たちの探求心に答え、天文学研究の新たな一步として期待されています。



Computer Aided Telescope System with Internet

●「CATS-i」は五藤光学が提供するリモート望遠鏡システムのサービスマークとして、商標登録されています。

五藤光学研究所
〒183-8530 東京都府中市矢崎町4-16 電話042(362)5311
<http://www.goto.co.jp/>

定価700円 本体667円

雑誌 06407-5